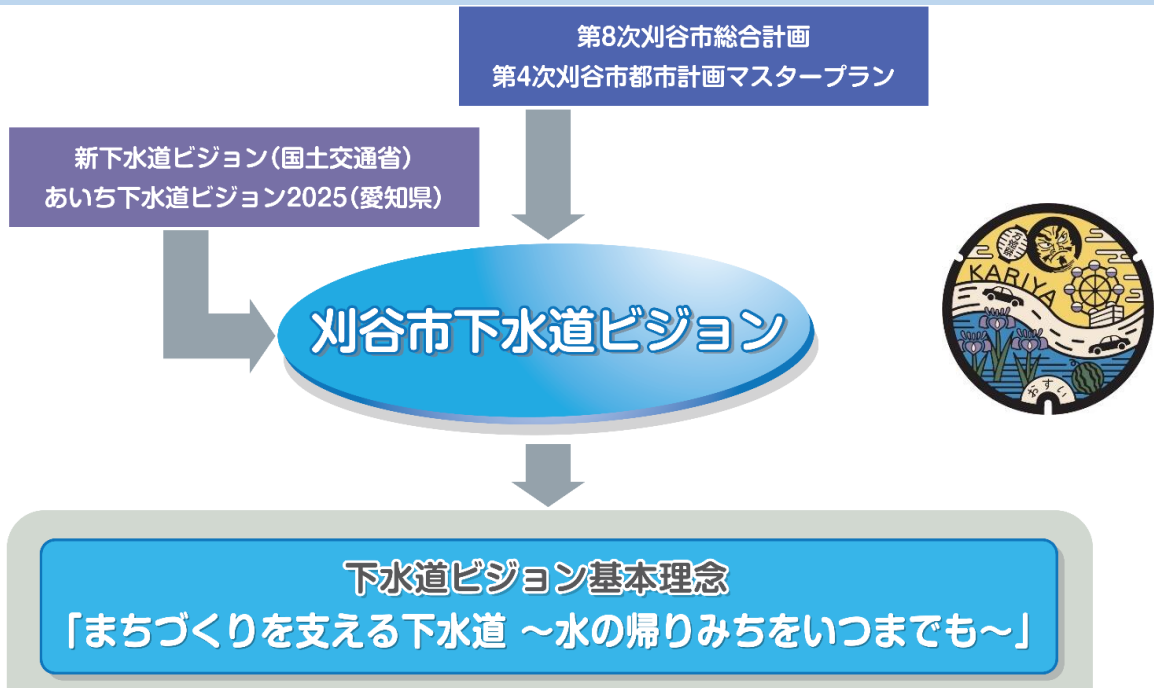


## 1 下水道ビジョンの趣旨

社会経済情勢の変化や下水道事業が抱える様々な課題に対応し、本市の下水道事業を将来に渡り、安定的に運営していくために、今後の進むべき方向性を示す計画として、刈谷市下水道ビジョンを策定するものです。

計画期間は令和5年度から令和14年度の10年間とします。

## 2 基本理念



## 3 現状と課題

### ①下水道接続人口と有収水量

・下水道接続人口や有収水量の増減に適切に対応する必要がある。

### ②汚水管きよ整備

・未整備区域の整備は鈍化しているが、下水道普及率は高い状況である。

### ③維持管理

・今後、施設の老朽化が急激に進行するため、安心安全な生活を守る対策が必要である。

### ④地震対策

・雨水管きよの対策を進める必要がある。

### ⑤浸水対策

・頻発するゲリラ豪雨などに対して、地域の状況に応じた対策が必要である。

### ⑥水質保全

・主要な河川の水質は改善しており、今後も維持していく必要がある。

### ⑦経営状況

・収入増加や支出抑制などに取り組む必要がある。

### ⑧その他の課題

・広域化共同化やデジタル化などに取り組む必要がある。  
・下水道事業に関する情報発信のあり方を検討する必要がある。

## 4 基本方針と基本施策

基本方針	基本施策	基本施策の主な内容	対応課題
1.効率的な施設管理の推進	予防保全型維持管理の推進	計画的な改築による良好な維持管理と財政負担の軽減	③ ⑦
2.災害に強い・強靱な下水道の構築	地震対策の推進	重要な雨水管きよの耐震化	④ ⑤
	浸水対策の推進	雨水貯留施設の整備など	
3.汚水処理の推進	汚水処理の最適化	整備効果が高い区域を優先し、その他は整備のあり方を検討	② ⑦
4.快適な生活環境と水環境の創出	下水道接続の促進	様々な機会を捉えて、下水道の役割や補助制度を周知	⑥
	合流改善施設の適正管理	継続的な水質検査と施設の適正管理	
	合併処理浄化槽の有効利用	下水道整備区域外での設置促進と適正管理	
5.積極的な情報発信の推進	情報発信及びイメージアップ	ホームページやイベントを活用した下水道の理解促進	⑧
6.持続的な事業運営の推進	下水道使用料の適正化	経営改善に取り組み、下水道使用料を検証	① ⑦ ⑧
	業務の効率化	広域化共同化やD Xの推進	
	人材育成と技術継承	外部研修による専門知識や技術力の向上	

## 5 管理指標と目標

管理指標	現状（令和3年度）	目標（令和14年度）
汚水処理人口普及率	97.6%	99%
下水道接続率	91.9%	94%
経費回収率	81.8%	90%